

Title	奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	三田社会学会
Publication year	2014
Jtitle	三田社会学 (Mita journal of sociology). No.19 (2014. 7)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11358103-20140705-0145

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

『三田社会学』第19号をお届けいたします。今号から編集委員長が浜日出夫先生から澤井に交代し、また塩原良和先生に委員として新たに編集委員会に参加いただいております。

今号では、昨年の三田社会学大会シンポジウムにもとづく特集「生きられる経験／当事者／当事者研究」が組まれております。シンポジウム自体は、参加者数がとても多く盛況で、活気に満ちたものとなりましたが、そうした雰囲気が本特集からも感じられるのではないかと思います。原稿をお寄せいただきました報告者およびコメントーターの先生方、またシンポジウムの企画および特集のとりまとめに当たられました岡原正幸先生に感謝申し上げます。

このほか今号には、論文1本、書評10本、著者リプライ1本、大会報告要旨2本を掲載しています。投稿論文は3本でしたが、結果的に掲載許可となったのは1本でした。ただ、今回掲載不可となった論文も、さらなるアップグレードの可能性を十分感じさせるものでしたし、査読をご依頼した先生方にも、たいへん詳細かつ丁寧な、また暖かみのあるコメントとアドバイスをいただけたと思います。『三田社会学』の大きな目的のひとつは、慶應に縁を持つ若手研究者のプレゼンテーション、コミュニケーションの場となることです。多くの会員の皆さまからの積極的な投稿を大いに期待し、また、お待ちしております。

なお、今年度も刊行にあたって三田哲学会から助成をいただきました。最後となりましたが記して感謝申し上げます。

(編集委員長 澤井敦)

編集委員会

澤井敦 (委員長) 菅野博史 熊田俊郎 塩原良和
近森高明 (事務局) 山腰修三 (事務局)

題字は福沢諭吉による

三田社会学

第19号

発行 2014年7月5日

編集発行：三田社会学会

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

慶應義塾大学文学部近森研究室内

tchikamori@a5.keio.jp

印刷：梅沢印刷所

250部発行